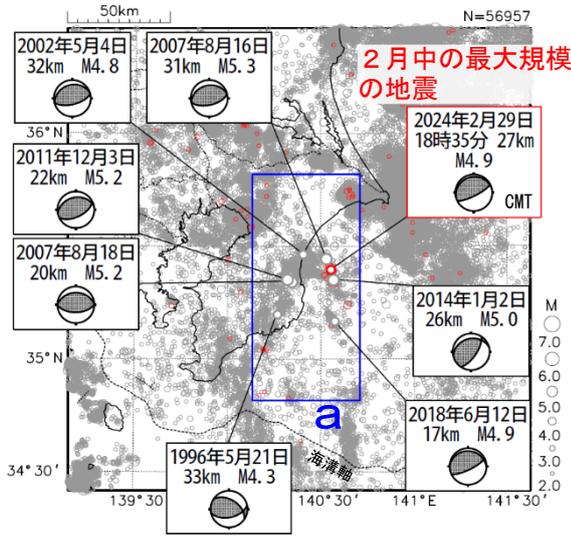
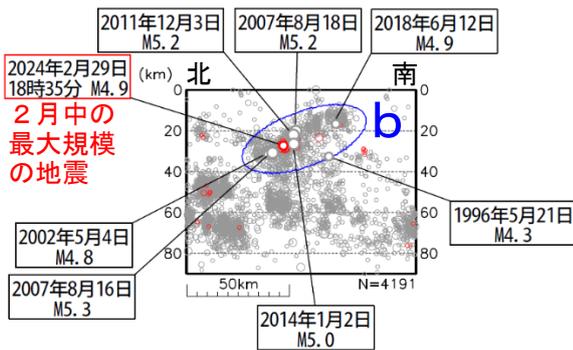


2024年2月26日からの千葉県東方沖の地震活動

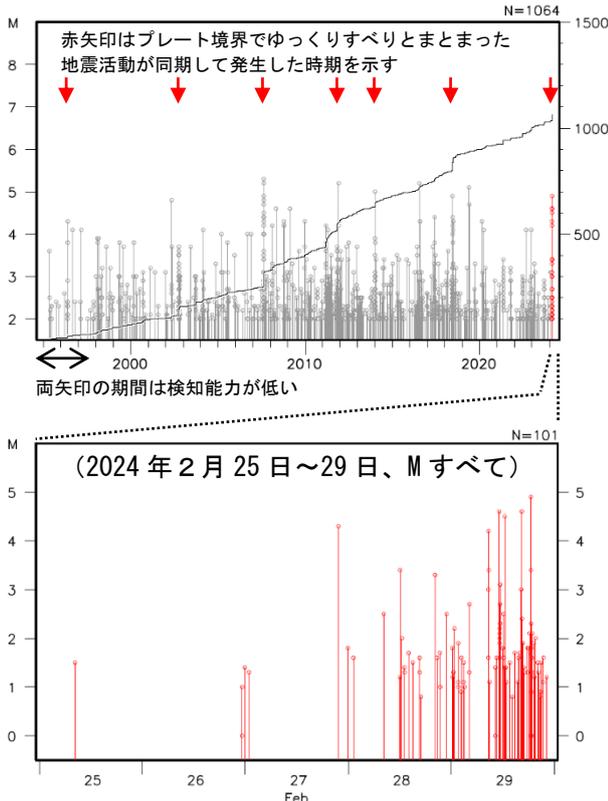
震央分布図
(1995年1月1日～2024年2月29日、
深さ0～90km、 $M \geq 2.0$)
2024年2月の地震を赤色で表示



領域a内の断断面図 (南北投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



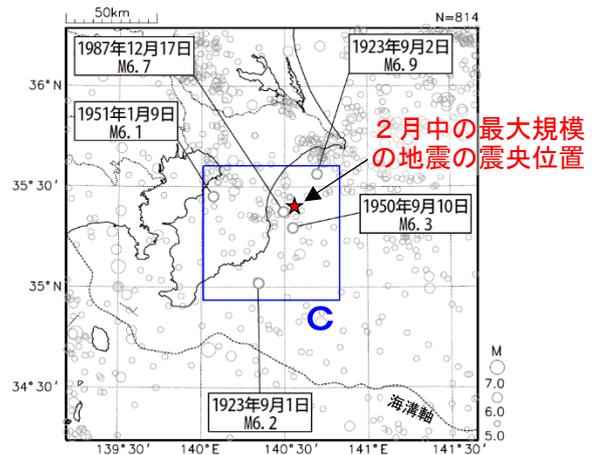
2024年2月26日23時頃から千葉県東方沖を中心に地震活動が活発となり、2月中に震度1以上を観測した地震が13回 (震度4:1回、震度3:3回、震度2:3回、震度1:6回) 発生した。このうち最大規模の地震は、29日18時35分に深さ27kmで発生したM4.9の地震 (最大震度4) である。発震機構 (CMT解) は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

今回の地震活動は、プレート境界で発生したゆっくりすべり (国土地理院及び防災科学技術研究所による) に伴うものである。

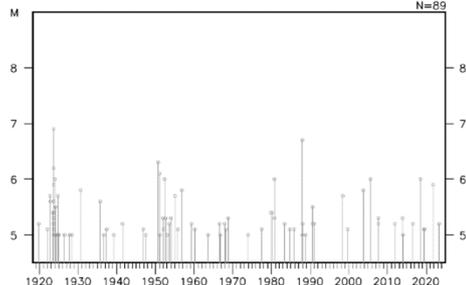
今回の地震活動の震源付近 (領域b) では、1996年、2002年、2007年、2011年、2014年及び2018年にもプレート境界でゆっくりすべりとまとまった地震活動が同期して発生した (国土地理院及び防災科学技術研究所による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震が時々発生しており、1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生したM6.7の地震 (最大震度5) では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、半壊102棟、一部破損72,580棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図
(1919年1月1日～2024年2月29日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図



千葉県東方沖の地震活動の最大震度別地震回数表
（2024年2月26日～29日）

（注）掲載している値はその後の調査で変更する場合がある。

【令和6年2月26日以降の日別発生回数】

日別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2/27	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
2/28	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	
2/29	4	2	3	1	0	0	0	0	0	0	10	13	
総計(2月26日～)	17	12	6	3	0	0	0	0	0	0		38	

